

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

非正規の非正規による 非正規のための闘い！

未来

郵政産業ユニオン
PIWU

全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3640
16年3月25日(金)
・Fax 095-828-1953

おはようございます。

二三日、郵政ユニオンは、賃上げと、正社員化などを求めて、全国の三職場（八六名）でストライキに入り、九州地本でも福岡中郵、福岡貯金事務センター、北九州中央、長崎中郵の四局で、仲間がストに入りました。

長崎中郵では、八名（うち非正規雇用社員が六名、またうち女性が二名）の仲間がストに入りました。郵政ユニオンは十六春闘勝利へ向け、これからも懸命に頑張ります。

この郵政ユニオン長崎の春闘は、いみじくもストに入った仲間が集会現場で決意表明したように、「自分たちのことは



自分たちで解決する」という非正規労働者の自立した闘いで、差別をなくし、正社員化を勝ち取ることで。

これをいけると、非正規の、非正規による、非正規のための闘いになります。十六春闘はその意味で、さらに大きな一歩を踏み出したといえます。二三日のストは

その決意の表れでした。

私たちは少数で非力ですが、要求の目指す方向と、闘いの手間は正しく、かつ、正当です。自信を持って頑張りました。



支援の仲間でした。紹介です。

、郵政ユニオン差別を許さない支援共闘会議の井原代表（県被爆者手帳友の会代表）、郵政ユニオン長中支部の顧問

二三日のスト突入集会は、長崎中郵前で朝七時四五分に始まりました。司会は瀧崎直樹支部執行委員が務め、まず高口美和子支部長が、十六春闘の要求と闘いの必然性を述べ、現地集会への参加と支援にお礼の言葉を述べました。

次に、福岡からかけつけた後藤九州地本委員長（福岡貯金事務センター）ストに参加）が九州地本を代表して、闘いの報告と決意表明をおこないました。

引き続き、向井宏副支部長が、春闘での交渉状況を報告しました。なかでも所属長権限での時給制契約社員の時給四十円アップ交渉でのゼロ回答で、ストを決意したと報告しました。

当日の集会への参加は、県議、市議や地区労、県労連と、友好にある十労組、五十人の

、写真。上は集会であいさつをされる中川拓弁護士（郵政ユニオン長崎の顧問）です。

、郵政ユニオンのストを報じるネット（ホームページ、ブログ、ツイッター）です。のぞいてみてください。郵政産業労働者ユニオン中央本部、郵政ユニオン九州（長崎）、長崎地区労、長崎県労連、井原東洋一前市議、中川拓弁護士、堀江ひとみ県議、などなど。それぞれ名前を入力して検索すれば出てきます。

スト宣言文が読み上げられたのち、スト突入者が一人一人、闘いの決意表明をおこない、山田書記長の団結ガンパローで、八時四十分集会を終わりました。

ストに入られた仲間のみならず、



期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。